桜の丘

2013年
10月号

社会福祉法人 綾友会
〒861-4609
上益城郡甲佐町西寒野1161
☎096(234)1191
ホームページ
http://www.sakuranooka.or.jp/

祝 百寿

甲佐町長より百歳表彰を受けられる、村上マツエ様

9月10日　宇城市の河野ぶどう園へ、ぶどう狩りに行きました。

もぎたてのぶどうは、甘くてとてもジューシー!!　皆さん、口々においしいと歓声を上げ、たくさんのぶどうを心ゆくまで味わっていました。

宇城市までぶどう狩りに出かけました

竹峰流　恵峰会のみなさん

9月15日　特別養護老人ホームにて敬老会の式典がありました。

式典には多数の方が参加し、三味線での演奏や歌でお祝いをしました。

敬老会式典

ご家族で祝膳を楽しまれる高村スミ子様

家族一緒に食事をする…そんなあたり前の事をお手伝いしたい。そんな思いで今年もご家族分含め、敬老祝膳 314 食ご用意しました。

祝膳

お弁当づくり

普通食
軟菜食のお弁当

嚥下食のお弁当

基礎力強化の介護研修

移乗・食事・入浴介助等の基本を数回に分け、全職員を対象に行っています。

今が『旬』の秋レシピ　蕎麦がき団子

（※桜の丘では四季折々にレシピ集をお配りしております。ご希望の方はお知らせ下さい。）

【材料】4人分

- さつま芋……中1個(160g)
- 茹で汁……100cc
- 蕎麦粉……20g
- 砂糖……20g
- 食塩……少々
- きな粉……適量

【作り方】

①さつま芋の皮をむき、厚めにスライスして水にさらす。
②①を柔らかくゆがいて取り上げる。
③②を茹で汁100cc と一緒にミキサーにかける。(ミキサーが無い場合はつぶしてもよい)
④③と蕎麦粉、砂糖、食塩を合わせる。
⑤④を適当な大きさにまとめて、きな粉をまぶして出来上がり。

POINT　さつま芋も旬を迎え甘みがのって一番おいしい時季です。さつま芋にはビタミンCの他、食物繊維もたっぷり含まれています。

社会福祉法人　綾友会

特別養護老人ホーム 桜の丘……☎096(234)1191
桜の丘居宅介護支援事業所……☎096(234)3293
……☎0120-234-991
桜の丘デイサービスセンター……☎096(234)1412
ケアハウス 桜の丘……☎096(235)3500
ヘルパーステーション……☎096(235)3500
グループホーム桜の丘……☎096(234)5022
桜の丘綾の家……☎096(234)0029
（サテライト特養・小規模多機能）

慰問

水道町親和会の皆様がポニー(子馬)を連れて慰問に来てくださいました。かわいいポニーを近くで見ることができ、皆さん大変喜ばれていました。

地域のつどい　健康一番!!

腰痛予防

認知症の予防と運動

地域の方の生きがい作りや健康増進を目的として月２回、綾の家で実施しています。

ご家族も参加して動植物園へ

中学生の福祉体験

小規模多機能ホーム「桜の丘綾の家」

住み慣れた自宅や地域で暮らし続けたい、そんな思いを叶え支えるのが小規模多機能ホームです。

- 要介護1から5までの認定を受けた方がご利用いただけます。
- 通いや訪問、泊りを必要に応じて組み合わせて利用できるサービスです。
- 通う場所や泊まる場所も同じで、訪問にも同じスタッフが出向きます。
- 土曜、日曜も利用できます。

利用される方たちもなじみの関係ができて、少人数でそれぞれお好きなように過ごされています。

～人と人、地域と施設の綾なす処～

小規模多機能ホーム特集　綾の家

近くのスーパーで買い物中

あゆまつり見物

グリンピースの皮むき

甲佐町の初市見物

お寿司をおいしくいただきました

バラの花を見に行きました
（実は職員の実家です）

綾の家　8/17(土)　夏祭り

利用者の家族や地域の方、子どもたち、多くの参加があり、ほのぼのとした夏祭りになりました。

ヨーヨーつりは子どもに大人気!

暑い夏にはやっぱりかき氷!

100歳

大塚　武平様

松井　寅勇様

敬老会
ご家族と一緒にお祝いをしました

小規模多機能ホーム利用者のご家族の方より

平成二十二年十月一日より綾の家（小規模多機能ホーム）を私の母は利用しています。

以前は他の施設のデイサービスを利用していましたが、父が病気となり途方に暮れていた家族を助けて頂いたのが「綾の家」でした。

通い・訪問・お泊り等のサービスがあり、泊り中心に利用し、時々家に連れて帰っています。お世話していただける職員の方が、どんな利用の仕方をしても顔なじみの方たちですので安心です。私はこのいつも顔なじみの方にケアして頂けるというのが素晴らしいと思っています。認知症になった者に、環境を変えずケアしていただける、家族の中で暮らす様な施設の利用なのです。

職員の方がいつも変わったらどうでしょう。お互いに分かり合えたり、心を通わせる時間が今より少ないのではないでしょうか。その日その時の利用者や家族の状態により柔軟にお泊りを受け入れて頂き助かっています。今も働きながら母を時々看ることができるのはサービスのお陰だと思っています。

私の母はアルツハイマー病の診断から9年になります。振り返ると、最初の頃は病気と闘う母がいました。そして、母と闘う家族がいました。更に、見守っていただく「綾の家」がありました。

今、母は要介護5になり、穏やかに下降路線に向かっています。気持ちを声に出すことは出来ませんが、理解できていると思っています。たまに私や施設のスタッフの方に見せる微笑み返しは、「いつもありがとう」と言っているのだと思っています。

今年の四月一日に大腿骨頸部骨折をし、一時はこれをきっかけに寝付くのかと思っていましたが、現在は生活リハビリを通して、介助にて歩けるまでになり感謝しております。

これからも家族同様のお付き合いをお願いします。

小規模多機能ホーム利用者家族　森口　由美子